

分析結果報告書〔5〕 1 / 2

4 . 土壌試料 1 (鉛)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1 . ISO 9001 ~ 9003 2 . ISO 14001 3 . ISO/IEC 17025 (ガ'卜' 25) 4 . M L A P 5 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	() 年
分析主担当者の実績（年間の分析試料数）	()

分析結果 (mg/kg) 注 1)		標準偏差 (mg/kg) 注 2)	測定回数
検出下限値以上	検出下限値未満での検出下限値		

注 1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。分析結果（検出下限値以上）は有効数字 3 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁で記入する。なお、測定を 2 回以上行った場合は、平均値を記入する。

注 2) 測定回数 3 回以上の場合には、それらの分析結果の標準偏差を記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1 . フルム原子吸光 2 . 電気加熱原子吸光法 3 . ICP 発光分光分析法 4 . ICP 質量分析法 5 . その他 ()
------	--

< 試験溶液の調製（溶出操作） >

試料量	() g
溶媒量（1 mol/l 塩酸の量）	() ml
振とう容器の容積	() ml
振とう方向（容器に対して）	1 . 縦 2 . 横

< 溶媒抽出 >

溶媒抽出 実施の有無	1 . 実施する 2 . 実施しない
試験溶液の分取量	() ml
溶媒の種類 抽出回数 溶媒の使用量	1 . 酢酸ブ'ヲ 2 . MIBK 3 . キ'リン 4 . その他 () () 回 () ml / 回
最終の定容量	() ml
最終溶液の液性	1 . 硝酸酸性 2 . 塩酸酸性 3 . 有機溶媒

< 原子吸光法 >

フ'レーム法 試験溶液の希釈 (希釈倍率)	1 . 希釈しない (希釈倍率 = 1) 2 . 希釈する 希釈倍率 ()
電気加熱法 注入量 注入の方法 原子化の方法 フ'ライア-の添加	() μl 1 . 自動注入装置 2 . 手打ち 1 . 黒鉛炉 2 . 耐熱金属炉 3 . その他 () 1 . 添加しない 2 . Pd を添加 3 . Pd 以外の添加
原子吸光分析装置 ハ'ック'ラウ'ド補正 測定波長	1 . 行わない 2 . 重水素フ'ッ' 3 . 偏光フ' - マ' 4 . その他 () () nm

分析結果報告書〔5〕 2 / 2

< ICP発光分光分析法 >

試験溶液の希釈 (希釈倍率)	1. 希釈しない(希釈倍率 = 1) 2. 希釈する 希釈倍率()
ICP発光分光分析装置 装置の型式 バックグラウンド補正 超音波ネーライザーの使用 測定時間 測定波長	1. 波長走査(シーケンシャル) 2. 波長固定(マルチ) 3. その他() 1. 行う 2. 行わない 1. 使用しない 2. 使用する ()秒 ()nm

< ICP質量分析法 >

使用した水	1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他()
積分時間(質量数毎)	()秒
質量数	()

< 検量線の作成等 >

定量方法 方法 内標準法: 内標準物質の種類	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 1. イットリウム 2. インジウム 3. タリウム 4. ビスマス 5. その他()
検量線 作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値	() 最小() mg/l ~ 最大() mg/l 注) ()
試料の指示値	()
空試験の指示値	()

注) 分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/l)を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--